

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 3 年 6 月 25 日現在

機関番号：32401

研究種目：基盤研究(B)（特設分野研究）

研究期間：2015～2020

課題番号：15KT0046

研究課題名（和文）バルカン諸国の歴史教育から見た紛争と和解の研究

研究課題名（英文）Conflict and Reconciliation through History Education in the Balkans

研究代表者

石田 信一（Ishida, Shinichi）

跡見学園女子大学・文学部・教授

研究者番号：80282284

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,400,000円

研究成果の概要（和文）：バルカン諸国における歴史教育と歴史教科書の実態の把握につとめ、各国の専門家のレビューを受けつつ、その特徴と問題点を明らかにした。研究開始当初は自国史中心の歴史叙述が克服されつつあるかに見えたが、近年改訂されたバルカン諸国の歴史教科書の事例からは、ナショナリズムの再燃を思わせる叙述や共有されるべきバルカンという地域の視点を無視するような叙述も見られ、なお和解・共生に向けた動きが十分に受容されたわけではなく、各国共通副教材のような試みにも大きな制約があることが判明した。また、バルカン諸国と東アジアの動向の比較・検討を行いながら東アジアにも適用可能な新たな地域史構築の方法を探り、一定の成果をあげた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ナショナル・ヒストリーの枠を超えた地域史構築の試みを主導しているドイツのゲオルク・エッカート国際教科書研究所やバルカン諸国の共通歴史副教材を編纂したギリシアのNGO「南東欧における民主主義と和解のためのセンター」と連携しながら、ヨーロッパにおけるこれらの試みを総合的に把握し、ただそれを受容するだけでなく、東アジアにおける実情と比較・検討しながら、和解・共生につながる地域史構築の方法を国内外に向けて積極的に発信しようと試みた点に学術的意義および社会的意義がある。

研究成果の概要（英文）：We investigated the characteristics and problems of the actual situation of history education in the Balkans. As a result, we found the reactionary tendency in the history textbooks which were based on the ethnocentric, nationalistic historiography of each country and ignored the common past in the Balkans. In addition, we tried to establish the new framework of regional history which can be applied for East Asia.

研究分野：西洋史

キーワード：バルカン 歴史教育 民族紛争

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

- (1) バルカン諸国では自国史中心の歴史教科書を地域史の視点から改訂するため、歴史研究者や歴史教育に携わる教員が国を越えて集まり、各国の歴史教科書のオールタナティブとして共通歴史副教材(史料集)を編纂するなど、和解と共生をめざす試みがなされていた。
- (2) バルカンと東アジアの歴史教育・教科書を比較・検討する意義や重要性についての共通認識は広がりつつあった。
- (3) 東アジアにも適用可能な和解・共生につながる地域史の新たな方法をつくりあげることが求められていた。

2. 研究の目的

- (1) バルカン諸国では、冷戦終結後四半世紀を経て歴史研究および歴史教育・教科書のあり方に大きな変化をもたらされ、紛争の火種の一つとなってきた偏狭な自国史(ナショナル・ヒストリー)中心の歴史叙述が克服されつつあった。こうしたバルカン諸国の歴史研究や歴史教育の変化と歴史教科書の改訂状況を比較しつつ、とくにバルカンという地域の視点がどれほど反映されているかを分析することが本研究の主要な目的であった。
- (2) 歴史研究および歴史教育・教科書を通じて地域の共通理解をつくり、和解・共生をめざしているバルカン諸国の事例を検討することで、同じように歴史認識の違いや領土問題をめぐって論争が生じている東アジアにも適用可能な新たな地域史構築の方法を探った。

3. 研究の方法

- (1) バルカン諸国における歴史教育と歴史教科書の実態を把握し、その特徴と問題点を明らかにする。近年になってバルカン諸国においてカリキュラムの大幅な改訂が行われており、あらためて初等・中等学校の歴史教科書および学習指導要領の緻密な分析の必要性が生じていることが大きな理由である。あわせて、バルカン諸国全体を対象として、現時点での歴史教科書の叙述を比較・検討する。
- (2) 先行研究において欠落しがちであった歴史研究と歴史教育との関連に着目し、バルカン諸国の歴史研究の新たな動向を検討する。地域史という視点を備えた歴史研究がどれほどの広がりをもっているのか、それらが歴史教科書や歴史教育にどのように反映されているかを精査する。歴史研究と歴史教育の相互関係や影響関係の実態を解明することも重要な課題である。
- (3) バルカン諸国の動向を東アジアの場合と比較・検討することにより、ナショナル・ヒストリーを越えた地域史叙述の方法を探り、それを歴史教育にいかに関与させるかについても検討する。

4. 研究成果

- (1) バルカン諸国における歴史教育と歴史教科書の実態の把握につとめ、各国の歴史研究者や教育者のレビューを受けつつ、その特徴と問題点を明らかにした。その研究成果は随時論文・図書等の形で公開してきた。研究開始当初は自国史中心の歴史叙述が克服されつつあるかに見えたが、クロアチアやセルビアで近年改訂された歴史教科書の事例からは、ナショナリズムの再燃を思わせる叙述や共有されるべきバルカンという地域の視点を無視するような叙述も見られ、なお和解・共生に向けた動きが十分に受容されたわけではないことが判明した。
- (2) バルカン諸国における現地調査を継続的に実施しつつ、研究者ネットワークの維持・拡大につとめるとともに、ギリシャ、セルビア、クロアチア、ブルガリアなどから研究者を招聘して公開シンポジウム(「歴史教育・歴史教科書を通じた和解の試み」等)や公開講演会(「歴史教育を通じた和解プロセス」等)を開催して英語および日本語で情報発信を行った。また、国際南東欧研究会(AIESEE)等でも研究報告を行なった。

(3) 上記のシンポジウムや講演会ではバルカン諸国と東アジアの動向の比較・検討に重点を置き、日本史研究者のシンポジウム参加や招待講演会「日韓における共通歴史教材の作成を通じたの和解の取り組み」の開催等でこれを深化させた。

(4) ギリシャ・テッサロニキの NGO 南東欧の民主主義と和解のためのセンター（CDRSEE）と連携し、同センターが企画・出版した新しいバルカン共通歴史副教材の内容の分析および翻訳作業を継続して行った。日本語版の早期刊行をめざしている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計18件（うち査読付論文 10件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 12件）

1. 著者名 石田信一	4. 巻 19
2. 論文標題 クロアチア近代史と地域史的視点－新たな歴史教科書の分析から－	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 跡見学園女子大学人文学フォーラム	6. 最初と最後の頁 81-97
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 柴宜弘	4. 巻 5
2. 論文標題 新生国家ユーゴスラヴィアと日本 両国交流の黎明期を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 E-ジャーナル『中欧研究』	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 石田信一	4. 巻 1048
2. 論文標題 クロアチアの歴史教科書問題 1990年代の紛争に関する記述を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ロシア・ユーラシアの社会	6. 最初と最後の頁 40-58
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 石田信一	4. 巻 55
2. 論文標題 クロアチアにおけるカリキュラムの変遷と歴史教育の諸問題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 跡見学園女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 長島大輔	4. 巻 3
2. 論文標題 ボスニア・ヘルツェゴヴィナのムスリムの集団的アイデンティティについて レイス・ウル・ウラマー、チャウシェヴィチを例に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 戦争社会学研究 - 宗教からみる戦争	6. 最初と最後の頁 128-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida, Shinichi	4. 巻 -
2. 論文標題 Territorial Disputes in Geography and History Textbooks: Descriptions in East Asia and Southeastern Europe	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The 20th Century through Historiographies and Textbooks (Ljubljana, INZ)	6. 最初と最後の頁 79-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石田信一	4. 巻 17
2. 論文標題 旧ユーゴスラヴィア諸国の歴史教科書に描かれた言語問題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 跡見学園女子大学人文学フォーラム	6. 最初と最後の頁 44-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiba, Nobuhiro	4. 巻 -
2. 論文標題 A Professor of the Russian Language in Tokyo: Dusan Todorovic and His Early Life: An Introduction for Studying a 'Marginal Man'	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The 20th Century through Historiographies and Textbooks (Ljubljana, INZ)	6. 最初と最後の頁 221-236
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shiba, Nobuhiro	4. 巻 24 (3)
2. 論文標題 Nacionalni identitet 'Granicara' - slucaj Dusana Todorovica, profesora ruskog jezika u Tokiju - od ranih doba do kraja Prvog svetskog rata	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Godisnjak za drustvenu istoriju (Beograd, UDI)	6. 最初と最後の頁 27-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴宜弘	4. 巻 4
2. 論文標題 ロシア語教師ドゥシャン・トドロヴィチと第一次世界大戦ー辺境地域出身者のナショナル・アイデンティティ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 E-ジャーナル『中欧研究』	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中島崇文	4. 巻 21
2. 論文標題 モルドヴァ共和国の歴史教科書における現代史	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学習院女子大学紀要	6. 最初と最後の頁 83-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石田信一	4. 巻 53
2. 論文標題 ユーゴスラヴィア紛争と歴史教育から見た和解の試み	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 跡見学園女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山崎信一	4. 巻 162
2. 論文標題 「共通の歴史」の描かれ方 セルビアとクロアチアの教科書にみるユーゴスラヴィアの歴史	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 駿台史学	6. 最初と最後の頁 157-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴宜弘	4. 巻 3
2. 論文標題 ロシア語教師ドゥシャン・トドロヴィチと第一次世界大戦 辺境地域出身者のナショナル・アイデンティティ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 E-ジャーナル『中欧研究』	6. 最初と最後の頁 1-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴宜弘	4. 巻 2
2. 論文標題 地域研究としての日本研究	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 E-ジャーナル『中欧研究』	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中島崇文	4. 巻 19
2. 論文標題 社会主義期ルーマニアの『史学雑誌』に表明された西の隣国と異なる歴史認識 : ハンガリーの『トランシルヴァニア史』(1986年)への反論をめぐって	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 学習院女子大学紀要	6. 最初と最後の頁 123-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石田信一	4. 巻 51
2. 論文標題 旧ユーゴスラヴィア諸国の学校教科書における国民史と地域史	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 跡見学園女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴宜弘	4. 巻 18
2. 論文標題 バルカン諸国共通歴史副教材と歴史教育	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 21世紀とトインビー	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件)

1. 発表者名 Shiba, Nobuhiro
2. 発表標題 Professor Dusan Todorovic and World War I: His Support Activities to Serbia in Japan
3. 学会等名 South-East Europe and the Great War. History, Memory, Legacy (AIESEE) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nagashima, Daisuke
2. 発表標題 Bosnian Muslims' Arguments over (in)Compatibility of Islamic and National Identities: Late Austro-Hungarian and Royalist Yugoslav Times
3. 学会等名 South-East Europe and the Great War. History, Memory, Legacy (AIESEE) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石田信一
2. 発表標題 バルカン諸国の民族紛争と歴史教育を通じた和解の試み
3. 学会等名 日本心理学会公開シンポジウム
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計12件

1. 著者名 長有紀枝、藤原広人、柴宜弘、橋本敬市、尾崎久仁子、佐藤宏美、明石康、岡田陽平、篠田英朗	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 272
3. 書名 スレブレニツァ・ジェノサイドー25年目の教訓と課題	

1. 著者名 大津留厚、野村真理、柴宜弘、米岡大輔、辻河典子、篠原琢、桐生裕子、ボシティアン・ベルタラニ チュ、飯尾唯紀、馬場優、森下嘉之、村上亮	4. 発行年 2020年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 344
3. 書名 「民族自決」という幻影ーハプスブルク帝国の崩壊と新生諸国家の成立	

1. 著者名 柴宜弘、山崎信一、石田信一ほか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 375
3. 書名 ボスニア・ヘルツェゴヴィナを知るための60章	

1. 著者名 柴宜弘	4. 発行年 2019年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 183
3. 書名 図説バルカンの歴史（増補4訂新装版）	

1. 著者名 柴宜弘、アンドレイ・ベケシュ、山崎信一、石田信一ほか	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 372
3. 書名 スロヴェニアを知るための60章	

1. 著者名 柴宜弘、百瀬亮司、山崎信一ほか	4. 発行年 2015年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 376
3. 書名 セルビアを知るための60章	

1. 著者名 柴宜弘、石田信一、中島崇文、木村真、山崎信一ほか	4. 発行年 2016年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 380
3. 書名 バルカンを知るための66章（第2版）	

1. 著者名 山本明代、パプ・ノルベルト、木村真、百瀬亮司、山崎信一ほか	4. 発行年 2017年
2. 出版社 刀水書房	5. 総ページ数 360
3. 書名 移動がつくる東中欧・バルカン史	

1. 著者名 橋本伸也、百瀬亮司ほか	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題	

1. 著者名 月村太郎、齋藤厚、石田信一、久保慶一、定形衛、大庭千恵子、小山雅徳、東野篤子、吉井昌彦	4. 発行年 2017年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 314
3. 書名 解体後のユーゴスラヴィア	

1. 著者名 奥野良知、山崎幹根、福岡千珠、萩尾生、太田唱史、柴宜弘、田中周、鈴木隆、松島泰勝	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 288
3. 書名 地域から国民国家を問い直す	

1. 著者名 日本心理学会、大淵憲一、石田信一ほか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 誠信書房	5. 総ページ数 272
3. 書名 紛争と和解を考える	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	柴 宜弘 (Shiba Nobuhiro) (50187390)	城西国際大学・国際人文学部・教授 (32519)	
研究分担者	中島 崇文 (Nakajima Takafumi) (90386798)	学習院女子大学・国際文化交流学部・教授 (32699)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	木村 真 (Kimura Makoto)		
研究協力者	山崎 信一 (Yamazaki Shinichi)		
研究協力者	百瀬 亮司 (Momose Ryoji)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	長島 大輔 (Nagashima Daisuke)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会 歴史教育・歴史教科書を通じた和解の試みーバルカン諸国の実践例を中心にー (2018年10月6日、跡見学園女子大学(東京都文京区))	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 歴史教育の和解に向けた役割 (2018年10月7日、跡見学園女子大学(東京都文京区))	開催年 2018年～2018年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関